



新刊
路入

香海指南
地

9
3896
2止



中國大學圖書館
 昭和27.6.25
 藏書

開路仕指

せんぶん充ちらうびんがうやうやうのちあう
文銀以役中 貧乏役中 〇 杉状

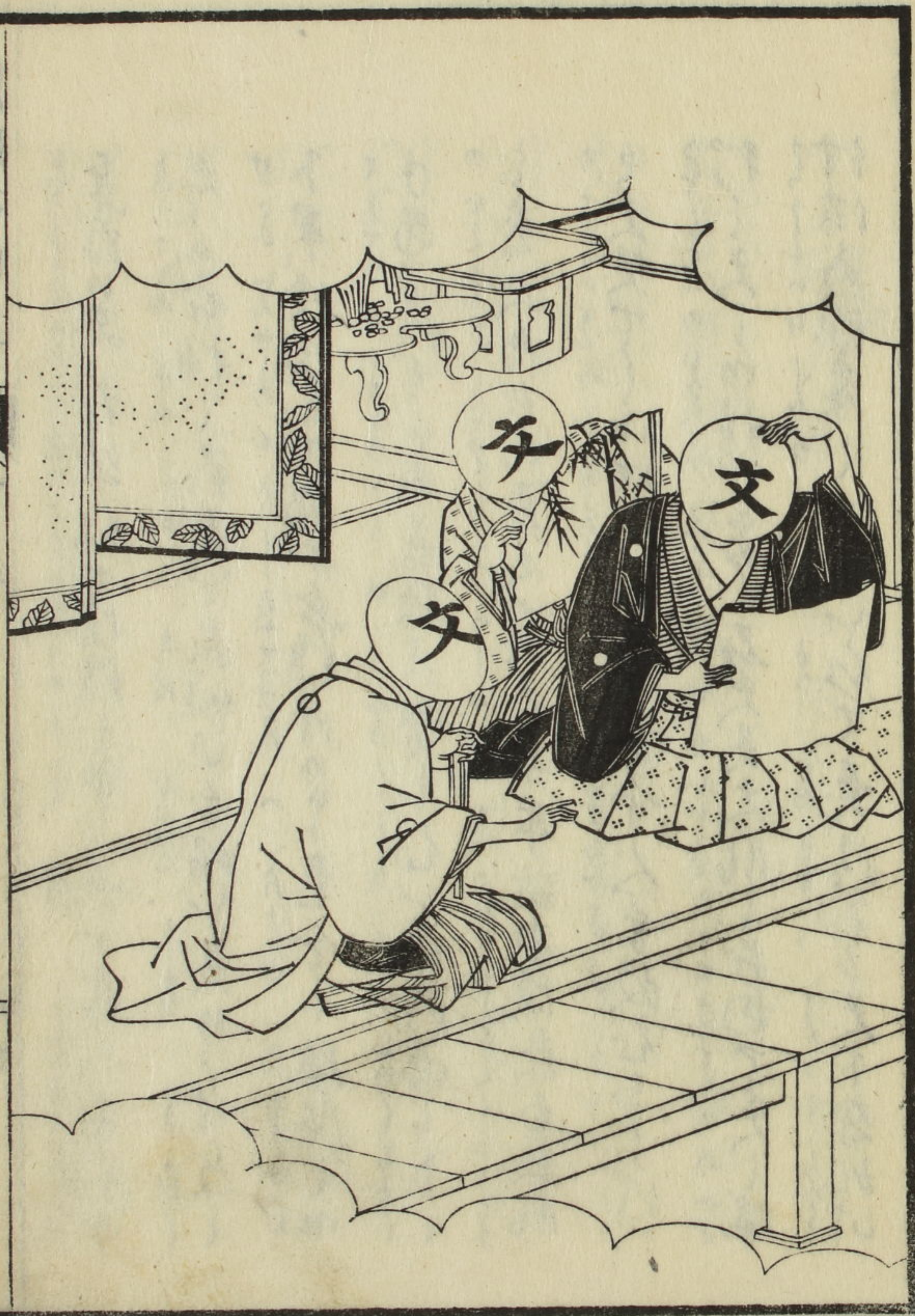
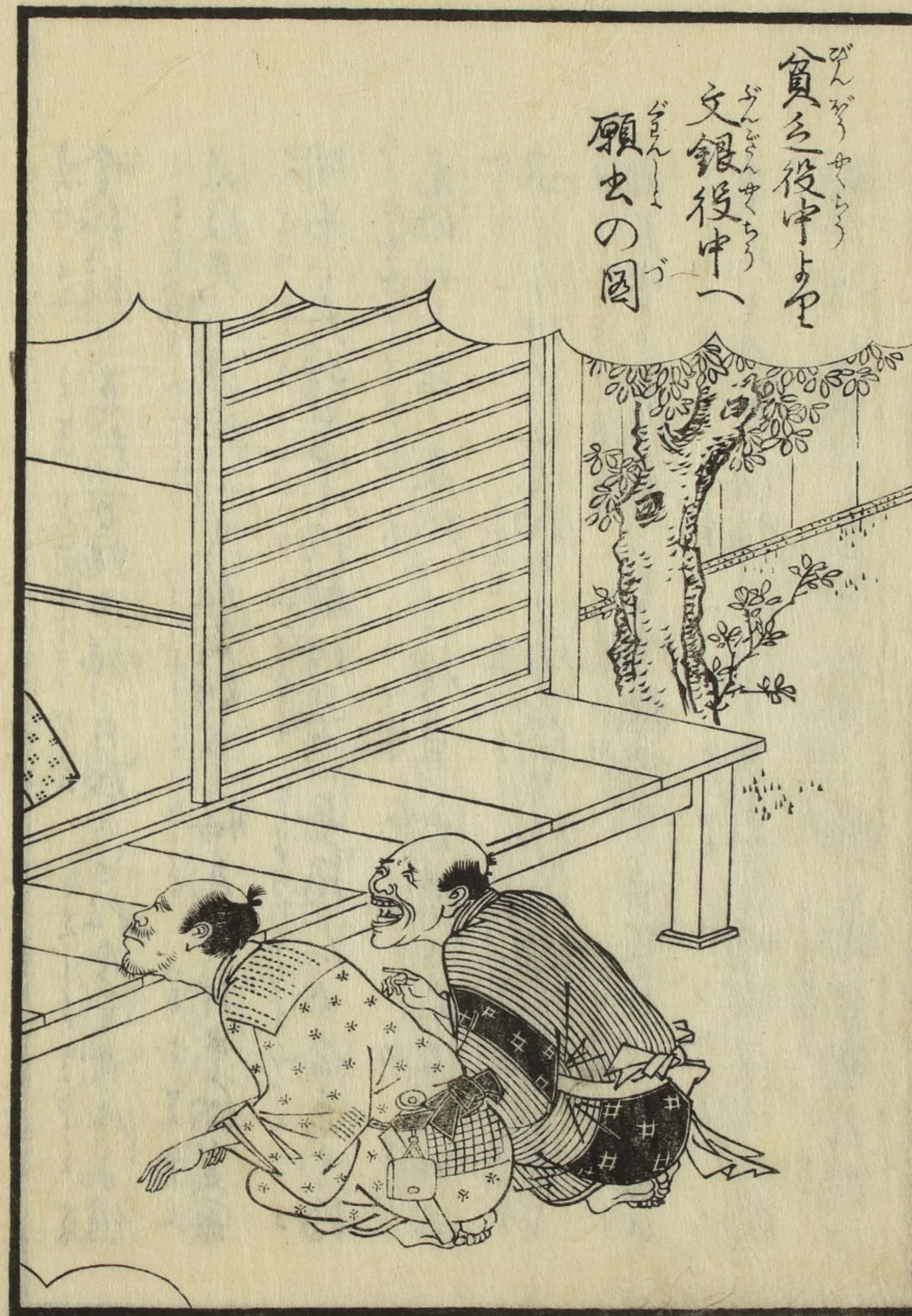
一筆書とはは先山寺抄何時も法外と云ふ事
されぬでさうぞんじさうつづき日たにもくるまにさううさんおのころふけあさ
ち目出度なる次々秋来春こ九夏二伏し又園秋
ぜハミ あてくらろ あぶきさうへバ りてさうちうかうめくろ
風より波る心もみ指成りゆ又中々木芽春
わうやとらうぶい さうやくささいの つるとさゝめあらひときあたからうみや
成八百代、業乃常盤木久しく身程長歌御代
かめごと てむくん さいごう

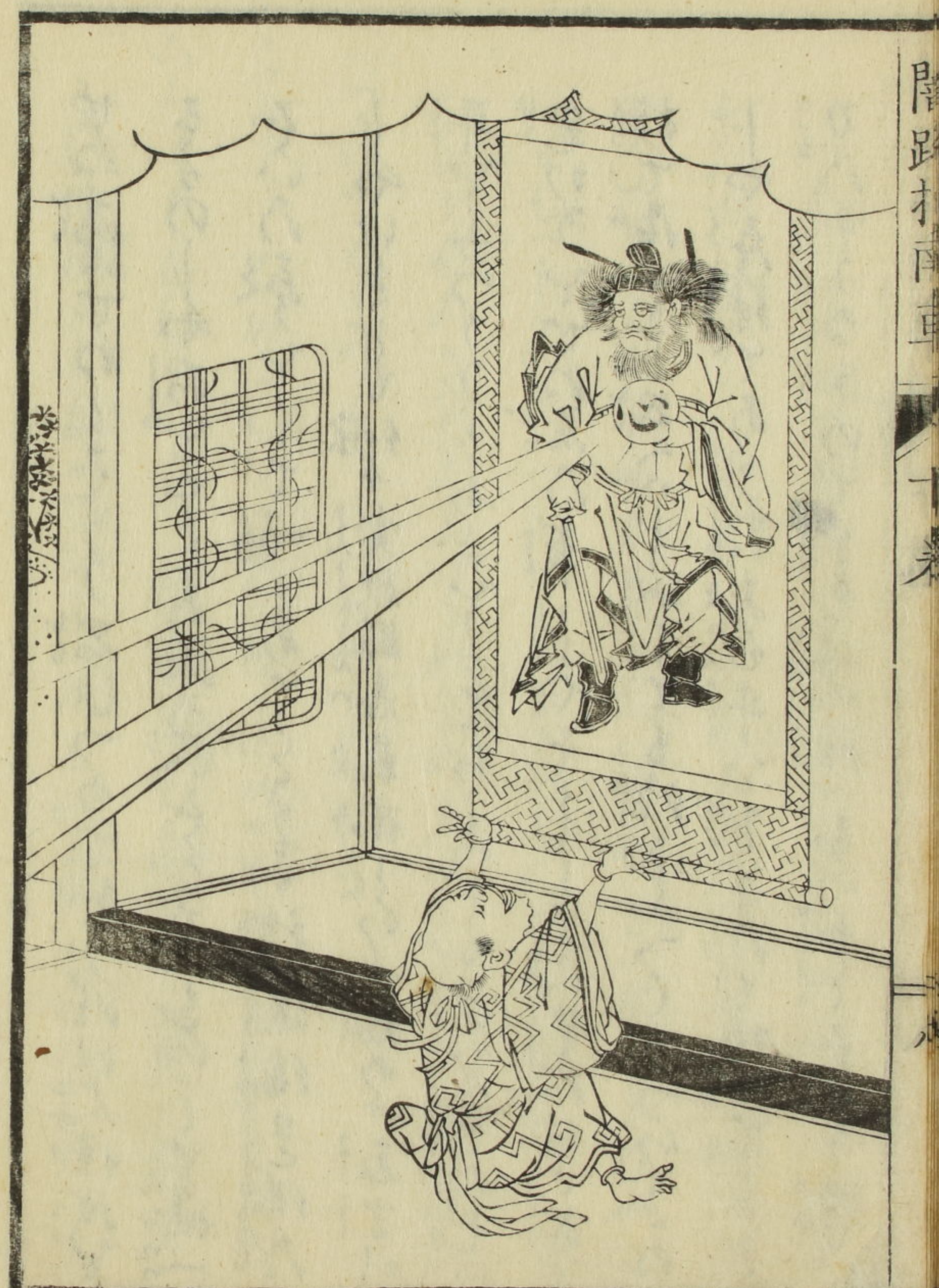
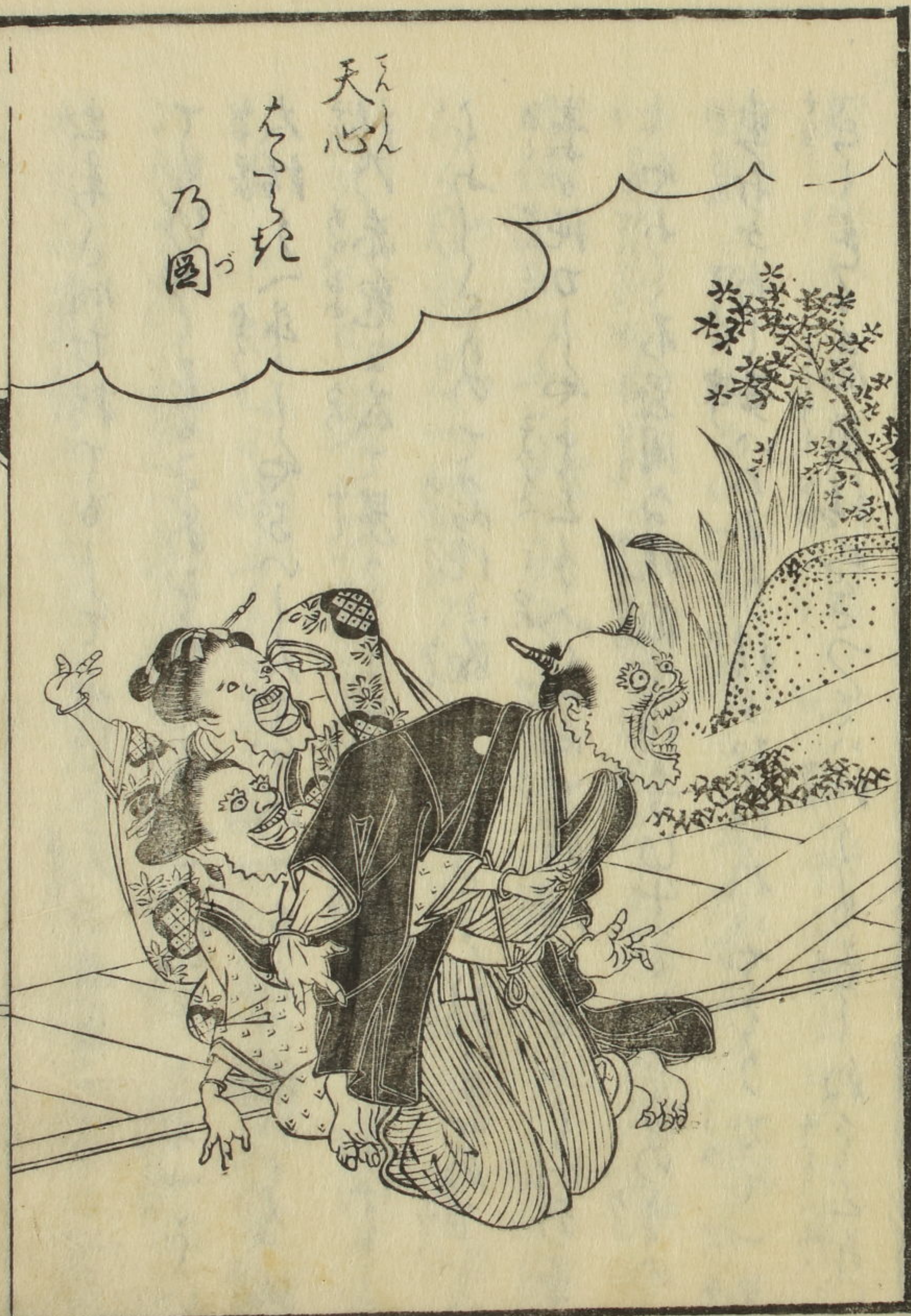
いゝあゝる麦飯と云ふことして稗粟穠と妙粉或ハ雑炊

不調に申す様方々私共とは是月一晩に月と
富役と更役と共計有る夜食は異は是月更
ふのおんげでこれにや
富く台限多に申すは此を秘藏幕内山月結
織物綿と價し申す物と申す中兵隊共用は服
金銀にせし堀り五五五五五五五五五五五
指おんの中は此を服に申す申す今より先と
以成に共同役と共計共計共計共計共計共計
此にけふ申す申す申す申す申す申す申す申す

金銀にせし堀り五五五五五五五五五五五
足及大に共計共計共計共計共計共計共計
同共共計共計共計共計共計共計共計共計
不任に斗麦代共計共計共計共計共計共計
あに日げく申す申す申す申す申す申す申す
おと申す申す申す申す申す申す申す申す
貧人共計共計共計共計共計共計共計共計
親共計共計共計共計共計共計共計共計共計

貧乏役中よ
文銀役中一
願虫の図





出来し時打粉でもしてあげて人小亭からふつ
てもびつゝもるゝあそれとも入せば小亭し力い
大鏡うへ斗いあいつんまでつておのの鑑はる垢
鏡乃赤鬼よめて炭もあゝぬ振なりもすま
ふふゝゝのめでん他おぬとつゝゝの鏡もせぬ
素が鈍刀じやもとふへ一向せ鏡くるゝの事
とやがく不意なる焼紙や鈍きひづゝのりのあひ
垂おががゝ安いゝうり鏡がひければやうり刃で一生
るゝもる竜角鏡くるゝつてい何ゝもあゝぬもとわく

清と信濃に神仏聖人様とやとて申しあゝの仕事が
出来このじやあいつ生のるゝ乃せんぞ風うや
仕がにひなされてお動トさるゝあゝ大層なひ
め徳もつて大さるゝいんまう大さうてち
らぐ月おへるゝぬやとたさるゝはひとめ就あつゝ
ごい今日じやあいつあ何とつてもさるゝむ牛りれ
仕事じやむ小懐あまばあち影やゝあふがさるゝむ
はるゝいゝあゝいゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ
まゝあが耳のあゝのあゝとれうけゝあがあゝ乃

幼童小
教訓乃
図づ



何乃らんでもあやうれどもうもくさうとて
ある也ふくせつけく自れと耳もわけさるる
たるは仕出うまゝと思へどもあの中にも
我子乃娘は目ふくば師通がとあそして
てもさう何ぞ顔でもすると彼をさう出
ある事依怙いさ乃憎むのさ中へ後と
うつちうつちでを評判せんあうちも
のうすのく思ひ仇とあるさるさ
訓教をさる者多くが貧乏役の仲間
て成ふく

や縁いあさるるまは後世うねと
親の機嫌とんかういさ何ぞさう
園か中ふさいくさるる乃子横ふ
や教は提焼んさるあまを引つて
後うあさるる世界がさるさるさ
師通さるせつさ出さるさあの時
ふを教方もさる中うの人
さるさ子れるさあ長久の守護
十はみさるの誓なやそそれさる
さるさ

い大切な道乃六ッ辻と云いあけり一ツがふと一乃
あつと一りの何をやつてもそれかやんの石鬼のまど
んど枕まども赤子孫れ老い性まぢれ昔くくち
しきと書しも子孫へのなの中て日きくか
分際で地乃人へいせと云ふはあていそれぬる子孫へ乃
むね吐乃書達し一りも知おとてあ親不離き系大坂
で乃と云ふまね難城の山よりてつんでりりく己が
む乃精垢のつりるねいせく中へ鬼と繋し幸甚とバ
親れち護やての意些人乃夫兄の鬼ぐりて漸く道ひ

あぐいぬいぬてうらんいぬがうのせとねしと
りふとすまの一箇度でいらくくも留まが天
極家業の御玉とて耕は日とあねども米麦粟豆
そふかよが葡萄大根芋牛蒡いそそれね諸と闘斗と
付くつんばうやくどけふもいぬの毛くうく
喰れうて思ふ思ふの思とて思ふの思れりた
かこふと云うぐとさかしうも報せんと押りど
まて思ふの思乃ふふ思ふ思ふ思ふ思ふ思ふ思ふ
よやて思ふ思ふ思ふ思ふ思ふ思ふ思ふ思ふ思ふ思ふ

我將乃人極もすくあかりて御上へ祈願もあつて
 人乃むもあつて玉乃まれば妻が代に美々秋万葉のよお
 此玉乃真農事いふもあつて氏さうあつてあつてや
 やつて思ふも乃あつてけ天れあつてこれに車に打あて
 影も出さずこれに人呼やあつてか
 有り大とちとゆふと中より園乃迷いあつてけれ
 有の月乃光いたのあつておのちうにこれね中これ
 有つてとまづくせよとる所なるを
 間路此指南車下巻大尾

弘化三丙午歳五月

阿州徳嶋新町橋南詰

天満屋武兵衛

京都三條通御幸町角

吉野屋仁兵衛

江戸通南貳丁目

山城屋佐兵衛

大阪北久太良町五丁目

河内屋喜兵衛

書肆

